



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社 ルネサスイーストン
 コード番号 9995 URL <http://www.rene-easton.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 上野 武史

TEL 03-6275-0600

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	40,472	0.5	603	38.9	706	33.9	464	39.6
30年3月期第2四半期	40,251	8.0	987	122.9	1,068	144.0	769	188.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 537百万円 (46.8%) 30年3月期第2四半期 1,009百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	18.06	
30年3月期第2四半期	29.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	34,178	23,528	68.8	983.91
30年3月期	36,045	24,685	68.5	934.58

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 23,528百万円 30年3月期 24,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		12.00	12.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,900	0.3	1,115	44.0	1,190	43.5	815	35.0	32.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	26,426,800 株	30年3月期	26,426,800 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	2,513,276 株	30年3月期	13,275 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	25,699,239 株	30年3月期2Q	26,413,545 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成30年11月12日(月)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の経済環境は、米国は景気的好循環が持続しておりますが、貿易摩擦の影響等で中国では製造業で生産・投資抑制などの動きがみられ、景気減速が懸念される状況となっております。また、国内は雇用・所得環境の改善などから個人消費は底堅く推移し回復基調が続いております。

半導体市場におきましては、2018年8月の世界半導体売上高は前年同月比14.9%増となり、25ヵ月連続で前年同月実績を上回り、市場の拡大が続いております。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間は、品目別売上高では集積回路はロジックICが自動車分野を中心に減少し、前年同期比88百万円減(0.3%減)の28,152百万円、半導体素子はトランジスタ、パワーデバイスが自動車分野等での増加により、同146百万円増(2.3%増)の6,458百万円、表示デバイスは産業分野等での減少により、同2百万円減(0.2%減)の998百万円、その他は産業分野向け電源等が増加し、同164百万円増(3.5%増)の4,862百万円となりました。その結果、売上高は同220百万円増(0.5%増)の40,472百万円となりました。

売上原価は前年同期比507百万円増(1.4%増)の36,669百万円。売上高に対する売上原価の比率は、原材料高騰により産業・自動車分野向けマイコン・ロジックIC等の集積回路の仕入価格が上昇したことや、一部高収益製品の生産中止が影響し、前年同期に比べ0.8ポイント増加し90.6%となりました。また、売上総利益は前年同期比286百万円減(7.0%減)の3,802百万円となり売上高に対する売上総利益の比率は前年同期に比べ0.8ポイント減少し9.4%となっております。

販売費及び一般管理費は、半導体ひずみセンサーの研究開発費の計上やベアにともなう人件費の戦略的な増加とともに、物流費等の高騰等を受け、前年同期比96百万円増(3.1%増)の3,198百万円となり、営業利益は売上総利益の減少及び販売費及び一般管理費の増加により、同383百万円減(38.9%減)の603百万円となりました。経常利益は、同362百万円減(33.9%減)の706百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同304百万円減(39.6%減)の464百万円となりました。

連結業績の推移

(単位：百万円)

	平成30年3月期				平成31年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
売上高	19,920	20,330	20,635	20,729	20,300	20,171
営業利益	530	457	620	382	351	252
経常利益	600	468	679	357	474	232

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べて1,867百万円減少し34,178百万円となりました。

これは、主として受取手形及び売掛金が177百万円増加したものの、現金及び預金が1,763百万円減少し、商品及び製品が486百万円減少したこと等によりです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて710百万円減少し10,649百万円となりました。

これは、主として短期借入金が増加したものの、買掛金が1,040百万円減少し、未払法人税等が239百万円減少したこと等によりです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,156百万円減少し23,528百万円となりました。

これは、主として為替換算調整勘定が221百万円増加したものの、自己株式が1,377百万円増加したこと等によりです。

これにより自己資本比率は68.8%となり、時価ベースの自己資本比率は38.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績等を踏まえ、平成30年5月15日に公表いたしました平成31年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。

第2四半期連結累計期間の実績では、売上高は中国経済の減速等により産業分野が計画に届かなかったことを主因に予想を下回り、予想比427百万円減(1.0%減)の40,472百万円となりました。利益面では、売上総利益率が計画を上回り、予想比マイナス分売上高の売上総利益をカバーし、販売費及び一般管理費が計画を下回った事等により、営業利益は予想比68百万円増(12.8%増)の603百万円、経常利益は同86百万円増(13.9%増)の706百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同29百万円増(6.7%増)の464百万円と予想を上回る結果となりました。

しかしながら、第3四半期・第4四半期累計の新たな予想では、売上高は産業分野の減少を主因に前回予想比2,072百万円減、営業利益は売上総利益の減少により同68百万円減、経常利益は営業外費用の増加もあり同126百万円減、親会社株主に帰属する四半期純利益は同94百万円減となる見通しであります。これらの事を踏まえ、通期の連結業績予想を修正いたしました。

※業績の内容

平成31年3月期 第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異(平成30年4月1日～平成30年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	40,900	535	620	435	16円47銭
実績値(B)	40,472	603	706	464	18円06銭
増減額(B-A)	△427	68	86	29	—
増減率(%)	△1.0	12.8	13.9	6.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	40,251	987	1,068	769	29円12銭

※修正の内容

平成31年3月期 通期連結業績予想の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	84,400	1,115	1,230	880	33円32銭
今回修正予想(B)	81,900	1,115	1,190	815	32円76銭
増減額(B-A)	△2,500	0	△40	△65	—
増減率(%)	△3.0	—	△3.3	△7.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	81,616	1,990	2,105	1,254	47円50銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,788	2,025
受取手形及び売掛金	15,312	15,489
電子記録債権	1,395	1,465
商品及び製品	10,584	10,098
仕掛品	11	16
その他	399	547
流動資産合計	31,492	29,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,033	1,037
減価償却累計額	△775	△785
建物及び構築物(純額)	257	251
工具、器具及び備品	185	184
減価償却累計額	△158	△161
工具、器具及び備品(純額)	26	22
土地	1,266	1,266
リース資産	14	14
減価償却累計額	△8	△9
リース資産(純額)	6	4
有形固定資産合計	1,557	1,545
無形固定資産		
ソフトウェア	132	116
その他	11	11
無形固定資産合計	143	128
投資その他の資産		
投資有価証券	2,253	2,270
繰延税金資産	20	21
その他	598	590
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	2,851	2,861
固定資産合計	4,553	4,535
資産合計	36,045	34,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,016	5,976
短期借入金	2,081	2,765
未払法人税等	404	165
その他	1,082	997
流動負債合計	10,585	9,905
固定負債		
役員退職慰労引当金	0	0
退職給付に係る負債	332	329
繰延税金負債	265	239
その他	174	173
固定負債合計	774	744
負債合計	11,359	10,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,042	5,042
資本剰余金	5,001	5,001
利益剰余金	13,730	13,878
自己株式	△3	△1,380
株主資本合計	23,771	22,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	681	542
為替換算調整勘定	214	435
退職給付に係る調整累計額	17	8
その他の包括利益累計額合計	914	987
純資産合計	24,685	23,528
負債純資産合計	36,045	34,178

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	40,251	40,472
売上原価	36,161	36,669
売上総利益	4,089	3,802
販売費及び一般管理費	3,101	3,198
営業利益	987	603
営業外収益		
受取利息	7	12
受取配当金	29	30
販売手数料	13	23
受取派遣料	24	24
為替差益	19	7
その他	46	47
営業外収益合計	139	146
営業外費用		
支払利息	7	19
債権売却損	13	13
シンジケートローン手数料	18	0
その他	20	9
営業外費用合計	58	43
経常利益	1,068	706
特別利益		
投資有価証券売却益	2	-
特別利益合計	2	-
特別損失		
貸倒引当金繰入額	0	-
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,071	706
法人税、住民税及び事業税	291	208
法人税等調整額	10	33
法人税等合計	302	242
四半期純利益	769	464
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	769	464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248	△139
為替換算調整勘定	△1	221
退職給付に係る調整額	△6	△8
その他の包括利益合計	240	73
四半期包括利益	1,009	537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,009	537

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。